

令和1年 渡辺整形外科病院 病院指標

当院では、入院患者さんの病状や、処置等の内容に応じて定められた1日当たりの定額点数をもとに医療費計算を行う、DPC（診断群分類包括制度）という新しい制度を取り入れております。

この制度の対象となる患者さんは、医療保険適用の方で、急性期一般病棟に入院された方です。

また、自賠責・労災・自費等の患者さんや、直接、地域包括ケア病床又は回復期リハビリテーション病棟に入院された方、及び国が定めた項目に該当する方は、DPCの対象外となります。

今回の病院指標は、平成31年4月から令和2年3月までに当院を退院されたDPC対象患者さんのデータを集計したものです。

*この指標は、全国統一の定義と形式に基づいた指標となっております。

*当院は整形外科単科病院です。

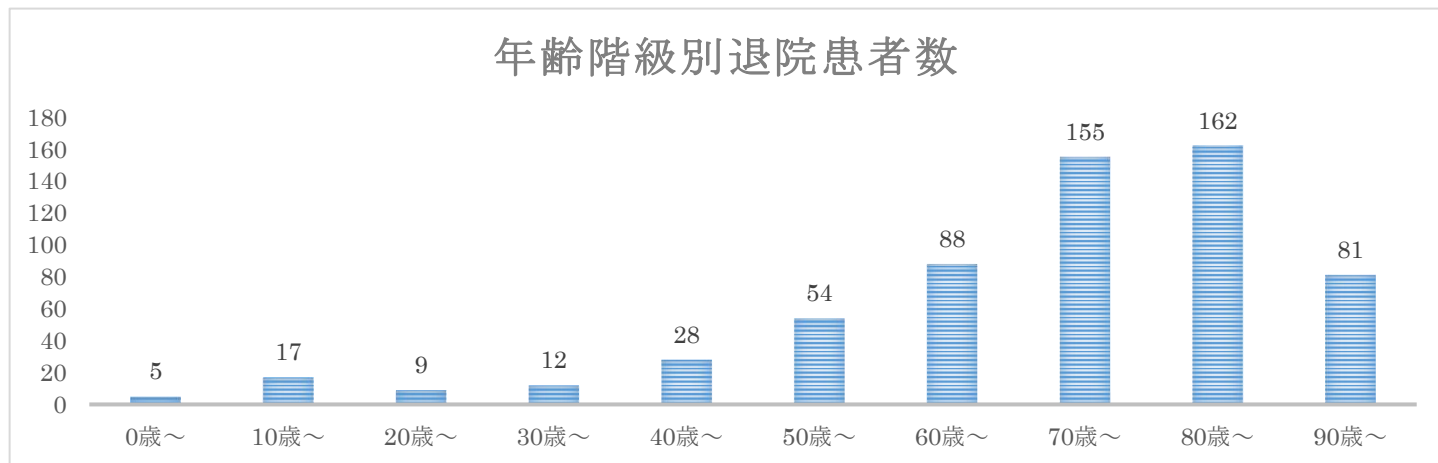
病院指標項目

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数（上位5位）
3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
4. 成人中肺炎の重症度別患者数
5. 脳梗塞のICD10（疾病）別患者数
6. 主要手術別患者数（上位5位）
7. その他（DIC、敗血症、その他真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

1. 年齢階級別退院患者数

退院数を10歳刻みの年齢階級別に集計しています。年齢は入院日の満年齢です。

ただし、90歳以上は1つの階級としております。



整形外科単科である当院は、地域の救急告示病院として主に整形外科疾患の患者さんを受け入れています。

整形外科専門医による、手外科、四肢外傷、関節疾患、脊椎疾患などの手術を主として行っており、70歳以上の患者数が全体の6割以上を占めます。

2. 診断群分類別患者数（上位 5 位）

診察科：整形外科 診療コード：11

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷 (胸・腰髄損傷を含む) 手術なし 定義副傷病なし	113	46.58	19.4	1.80%	83.08
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 手術あり K0811 等	83	56.49	25.94	1.96%	83.42
160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	56	8.55	5.54	0.16%	59.29
160800XX99XX0X	股関節・大腿近位の骨折 手術なし 定義副傷病なし	23	29.13	14.43	1.80%	82.17
160850XX01XX0X	足関節・足部の骨折・脱臼 手術 (K0463 等) あり 定義副傷病なし	20	31.90	15.59	0.16%	60.55

脊椎圧迫骨折、股関節代替骨折、脊椎疾患の患者さんが多く、そのほとんどが高齢者で内科疾患を持たれている患者さんです。入院中の転院は内科疾患の悪化によるものですが、内科疾患が安定した後は、再入院して当院で在宅復帰を目指し、リハビリテーション等を行っております。

在院日数については、全国平均より比較的長くなっておりますが、当院では入院、手術からリハビリテーションに至るまで、一貫して在宅復帰に向けた治療に取り組んでいるからでもあります。

3. 初発の 5 大癌の U I C C 病期分類別並びに再発患者数

5 大癌とは、胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌で、初発または再発の患者さんを対象とします。

当院では、整形外科単科であるため該当の患者さんはおられませんでした。

4. 成人中肺炎の重症度別患者数

当院では、整形外科単科であるため該当の患者さんはおられませんでした。

5. 脳梗塞の I C D 10（疾病）別患者数

当院では、整形外科単科であるため該当の患者さんはおられませんでした。

6. 主要手術別患者数（上位 5 位）

当院の 1 年間における主要手術件数の上位 5 位を集計しています。

Kコード	名称	患者数	平均術 前日数	平均術 後日数	転院率	平均年齢
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨・上腕・大腿）	65	3.14	51.46	2.63%	82.88
K0462	骨折観血的手術（前腕・下腿・手舟状骨）	39	1.56	17.08	0%	56.18
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕・ 下腿）	36	0.56	2.25	0%	64.14
K0811	人工骨頭挿入術（肩・股）	27	3.70	44.78	0.53%	81.63
K0732	関節内骨折観血的手術（胸鎖・手・足）	25	3.60	20.88	0.26%	68.40

当院の主要手術件数において、最も多い手術は外傷による骨折観血的手術です。その他、手、脊椎脊髄、四肢関節などの疾患に対し専門医による手術を行っています。

脊椎においては、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などの疾患を抱える患者さんが多く、患者さんに負担の少ない鏡視下手術なども行っています。他には、変形性関節症による人工関節置換術や、手根管症候群による手根管開放手術などが主なものです。

7. その他

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	1	0.16%
		異なる	-	-

当院では播種性蕁麻疹内凝固症候群、敗血症及びその他の真菌感染症の患者さんはおられませんでした。

手術・処置等の合併症で上がっている症例は、18年前当院にて手術をされた患者様の人工関節が破損し、疼痛出現のため入院・手術となった症例です。

日々細心の注意を払って医療を提供しておりますが、確率的にゼロとは言えないため、起こる可能性がある合併症については、可能な限り事前に患者さんに説明するように努めています。